株式会社日本格付研究所
Japan Credit Rating Agency, Ltd.

21-D-0361
2021 年 7 月 7 日

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社トマト銀行（証券コード:8542）

【据置】

長期発行体格付	ＢＢＢ＋
格付の見通し	安定的

■格付事由

(1) 岡山市に本店を置く、資金量 1.1 兆円の第二地方銀行。県内の預貸金シェア（預金はゆうちょ銀行除く）は 1 割程度を占める。格付は資本充実度や分散の効いた貸出ポートフォリオへの評価などを反映している。一方で基礎的な収益の水準は低く、その改善が課題である。地元中小企業の本業支援などの施策を通じ収益力を強化していけるか JCR は注目していく。

(2) コア業務純益（投信解約益を除く、以下同じ）ベースの ROA は 0.1%台後半と低位にある。有価証券利回りが低いことや経費率が高いことなどが ROA を押し下げている。ただし、資金調達費用の減少などによりコア業務純益は 20/3 期以降増加しており、緩やかながら収益力は改善している。貸出金利息の減少幅も縮小しているが、この背景には、コロナ禍での資金繰り支援も含め地元中小企業の支援に注力し、中小企業向け貸出残高（市場性ローン除く）を増加させてきたことなどが挙げられる。今後、中小企業支援に加え、顧客ニーズに基づいた個人向けビジネスの強化や経費削減などを進めることで収益力を改善していけるか見守っていく。

(3) 金融再生法開示債権比率は 21 年 3 月末で 2%強と問題のない水準にあり、貸出ポートフォリオは小口分散、業種分散が図られている。これらを背景に、17/3 期以降の与信費用は貸出金平残比 5bp 以内と落ち着いた水準で推移している。一方、コア業務純益に対して未保全額の大きい業況不芳先の数が多いことにはやや留意を要する。コロナ禍がこれらの先の業況に与える影響などを含め、引き続き与信費用を抑制していけるか注目していく。

(4) 預証率は 13%台と低く、金利や価格変動のリスク量は資本対比で抑制された水準にある。円債の償還に伴う収益減を投資信託への投資などによりカバーする方針であるが、保守的な運用方針は大きく変わらない見込みであり、有価証券運用におけるリスク量は管理可能な水準に留まると JCR はみている。

(5) 21 年 3 月末の連結コア資本比率（一般貸倒引当金などを控除した調整後）は 8%強と、「BBB+」の地域銀行として相応の水準にある。今後、プロパー貸出や投資信託の残高増加に伴いリスクアセットが増加していく可能性があるが、リスクアセットコントロールを重視する方針であることなどを踏まえると、当面は格付に見合う調整後コア資本比率を維持することは可能と JCR は考えている。ただし、優先株分を含む配当負担が重く、資本蓄積のペースは緩やかなものに留まるとみている。

（担当）大山　肇・古賀　一平

■格付対象

発行体：株式会社トマト銀行

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	BBB+	安定的

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. **信用格付を付与した年月日**：2021 年 7 月 5 日
2. **信用格付の付与について代表して責任を有する者**：松村　省三
   主任格付アナリスト：大山　肇
3. **評価の前提・等級基準**：
   評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ（https://www.jcr.co.jp/）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014 年 1 月 6 日）として掲載している。
4. **信用格付の付与にかかる方法の概要**：
   本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ（https://www.jcr.co.jp/）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014 年 11 月 7 日）、「銀行等」（2014 年 5 月 8 日）として掲載している。
5. **格付関係者**：
   （発行体・債務者等）　　株式会社トマト銀行
6. **本件信用格付の前提・意義・限界**：
   本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
   本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
   本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. **本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者**：
   - 格付関係者が提供した監査済財務諸表
   - 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. **利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要**：
   JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. **JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置**：なし

■留意事項
本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等をすることは禁じられています。

■NRSRO 登録状況
JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ（https://www.jcr.co.jp/en/）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先
情報サービス部　　TEL：03-3544-7013　FAX：03-3544-7026

株式会社日本格付研究所
Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号
〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8　時事通信ビル